

あれからどうなったんやあ〜 シリーズ 84

このシリーズは、過去の定例会（今回は平成27年9月議会）での一般質問に関して、その後の状況をお知らせするものです。

養老SAスマートインターチェンジの進捗状況は



養老SAスマートIC現場

問 今年12月開通予定の養老SAスマートIC設置の工事が大幅に遅れているが、12月の供用開始は間に合わないのではないか。

答 関係者との協議を終えてから地区協議会に諮る行政手続が終わるまで公表できない。

平成27年12月7日に、養老SAスマートIC地区協議会が開催され、平成30年6月開通の変更計画が承認されました。事業に必要な土地の取得も終わり、開通に向けて、現在順調に事業が進められております。

こうなりました

問 大垣市の公立園では生後2ヶ月から、関ヶ原町でも生後6ヶ月から入園月齢としている。当町の入園月齢10ヶ月を見直し定員数を検討すべきではないか。

答 社会福祉法人池辺育心会との公募条件や合意文書締結不備での反省点は、多々ある。一刻も早い整備が私の喫緊の課題であり責務と考える。

問 町政を営利的、経済的に管理する町長の行政経営は、養北認定こども園（仮）で失敗した。自らの地方公務員法を適用したケジメの付け方もあるが。

答 養北認定こども園（仮）の入園月齢は、10ヶ月としている。町内私立園では異なりがある。

問 認定こども園化の移行により旧施設を児童館にする町の施策は。

答 公共施設管理計画と整合性や町民の意見を聞き検討していきたい。

問 現場では、認定こども園化で事務量が増大している。職員配置の改善や処遇改善は。

答 岐阜県幼保連携型認定こども園の基準を満たすよう配慮している。園長会などで改善点を図りたい。

民設・民営失敗のけじめは

町長

一刻も早い整備が私の責務



◆ 水谷久美子 議員

事業計画検証の準備を

町長

今年度中には議会にも報告を



養老改元1300年祭のぼり旗

問 多額の費用を投入した1300年祭事業。その評価検証が求められる。町民への公開も含め詳細な報告ができる準備ができているか。

答 平成24年度から昨年度までをイベント期間として実施。交付金対象事業については地方創生推進委員会で評価・検証を行ってきた。本事業評価の公聴会などは考えていないが、12月23日のクローキングセレモニーを待ち、今年度中には議会にも報告をしたい。

議会に対しての意見

シリーズ 22

■ 住民の声 ■

このシリーズは、町内の各種団体の代表や副代表等の方へ、編集委員が意見をお聞きし、その記事を掲載するものです。

（町内在住 Y・Kさん）
毎回、議会だよりを拝読、ネットによる録画中継を拝見させていただいております。各議員方々の一般質問について、大半は関係各課との協議で解決する内容が始どかと思えます。敢えて議場で取り上げる必要性を感じません。議場でこれだけやってますよ、と有権者へのアピール・パフォーマンスになっていませんか。有権者への報告は自らが様々な方法を駆使して伝えるべきと考えます。
さて、養老町も厳しい財政の中、各種団体への補助金削減、業務委託等を進めています。町議会議員定数13、他市町村との比較で適正であるからと言え、見直しも考慮すべきでしょう。有権者は適正であるとは思っていません。初心に戻り、公約を今一度確認していただき、有言実行！地域、養老町の未来のため、なお一層の奮励努力されることを期待しております。